

編 集 後 記

- ☆ 前号と同様に、研究ノート、書誌、資料紹介、連載物の各欄を立て、いずれも力のこもった論文をもって編集することができました。
- ☆ 井坂氏の論文は、昨年の9月に、水戸藩儒藤田幽谷の書簡282通を翻刻し刊行した『貴重書解題 第14巻』中から、『大日本史』の編纂に関わる記事を抽出して、水戸藩修史事業の進行状況を論究したもので、当館架蔵の未紹介の資料を駆使してまとめた労作です。
- ☆ 田中氏の論文は、旧上野図書館時代の雑誌資料についての諸問題を正面から取り組んで考察したものであり、資料の収集、保管等の業務を実践する上で、お役に立つことを願っています。
- ☆ 田口氏の『篤宿雑記』は、わが国最大の写本叢書とされ、よく利用されているが、検索が不便で、問い合わせや利用請求の際にとまどう事が多く、取り扱いにくい叢書とされてきたものです。これまで、何度か編集企画にのぼったが、大部のため見送られてきました。本号で発表できましたことは、所蔵館としての責務を多少果たしたことになるかと思われます。
- ☆ 本誌に関する批判、注文などを大いにお聞かせ下さい。それにかんがみて、本誌を充実させたいと念じています。(馬場)

☆ 編 集 委 員 (6月末現在)

寺村由比子

馬場 萬夫 (参 考 課)	富田美樹子 (官庁資料課)
土屋 紀義 (")	広瀬 順皓 (政治史料課)
田中 克彦 (")	折田 洋晴 (科学技術資料課)
金井 富美 (")	吉久 明宏 (アジア資料課)
権佐 美幸 (")	野村 稔 (特別資料課)

参考書誌研究 第36号 平成元年8月31日発行

編 集 国立国会図書館専門資料部

発 行 国立国会図書館

東京都千代田区永田町1の10の1 (〒100)

電 話 581-2331 (代)

印 刷 株式会社 ディグ 電話 551-3060 (代)

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜すいし転載されるばあいには、事前に専門資料部参考課へ連絡してください。